

# 教師用指導書

道徳科の授業は、生徒と先生と一緒に考え、語り合うもの。  
生徒の実態やデジタル時代に合わせて使いやすく、  
そして具体的な授業の姿がよく分かる構成に進化しました。

## 学年別セット内容

- 1 解説編
- 2 朱書編
- 3 朱書編デジタル版
- 4 指導者用デジタル教科書(教材)
- 5 デジタルデータ集
- 6 OCRサービス

指導書セットに付属!

※1,2は紙媒体、3~6はクラウド配信で提供予定です。  
※開発中のため、内容や構成は予告なく変更になる場合があります。

## 解説編

現場の実践を基にした学習指導案で、深い学びのある授業をサポートします。

※学習指導案その②が付いた4ページ構成の教材もあります。

33

## 私は清掃のプロになる

## 新 補助発問例、問い返し例

生徒と先生のやり取りを邪魔しないよう、教科書の発問数は精選。その代わりに、指導書では多数の発問例を提案しました。授業のメインの流れと列を分けることで、発問の取捨選択や生徒の実態と先生の考えに応じたアレンジをしやすくしました。

生徒の意見にどう問い返せば深まるか  
一目で分かるようにしました!

学習指導過程	導入	展開	終末	
学習活動(発問例、予想される生徒の反応)	1 空港の仕事に興味をもつ。 発問○社会の中にはどんな仕事があるだろう。 空港の仕事には何ががあるだろう。【資料】 学びのキーワード「心がこもった仕事」とはなんだろう。	2 教材「私は清掃のプロになる」を読み、考える。【音読】 発問①新津さんは日本へ来たとき、どんな気持ちだったのだろう。【空図】 発問②新津さんはどんな思いで、高校でも就職した後も清掃の仕事をしたのだろう。【空図】 ★発問③「考えてみよう」新津さんが分かったような気がした「心」の意味とは、どんなものだったのだろう。【空図】 発問④「自分に+1」心を込めて仕事をすると、どういうことだろう。【空図】	3 今日学習を振り返る。【空図】	
補助発問例、問い返し例	補助発問(生徒の様子を見て行う発問) 問い返し(生徒の言葉を受けて行う発問)は、生徒や授業の状況に応じて活用してください。→本書p25	補助発問 自分なら、あまりやりたくない仕事にどう取り組む? 問い返し 新津さんが感じた清掃の仕事の魅力って何? 問い返し 「使う人のことを考えて掃除をする」のような、「心がこもった仕事」のよさってなんだろう? 補助発問 心を込めても込めなくても、お給料は変わらないじゃない? 補助発問 心を入れ替えて掃除すること、赤ちゃんや子どもが触っても大丈夫なくらい、きれいに掃除をすること、使う人のことを考えて掃除をすること。	補助発問 心を入れ替えて掃除すること、赤ちゃんや子どもが触っても大丈夫なくらい、きれいに掃除をすること、使う人のことを考えて掃除をすること。	
指導上の留意点(発問の意図)	参考クイズを使用して教材に興味をもたせ、空港の清掃をする仕事があることに注目させる。その後、本時のねらいを提示する。	教材の範読後、資料で新津さんの経歴をおさらいしてもよい。清掃の仕事に対して、マイナスイメージをもっている新津さんに共感させる。必要に応じて、中国残留日本人孤児の補足説明を行う。新津さんが清掃の仕事をしたのは、経済的な事情だけでなく仕事にやりがいを感じていたためであることを押さえる。技術を磨くだけでなく、他者を思いやり心を込めて働くことが、自分の仕事の価値向上と充実した生き方につながっていくことに気づかせる。補助発問で、心を込めて仕事をすることが必ずしも経済的な利益を生むわけではない、という揺さぶりをかけ、仕事の意義について考えを深めさせる。今日の学習で学んだことを、自分の言葉で道徳ノートにまとめさせる。書いたことを発表させ、将来、自分が社会の一員として働くときに大切にしたいこと(勤労観)を意識させる。	感想を書かせ、余韻をもって学習を終える。新津さんのインタビュー映像を見せるとよい。	

### 板書例

心がこもった仕事  
私は清掃のプロになる

日本へ来たとき  
言葉も通じない。  
清掃の仕事は嫌だな。  
日本語がうまくならないまま我慢。  
清掃の仕事が続けた思い  
お金を稼ぐため。  
おもしろい。  
自分に向いている。

★新津さんが分かったような気がした「心」の意味とは  
きれいに掃除するだけではない。  
赤ちゃんや子どもが触っても大丈夫なくらい、きれいに、使う人のことを考えて、自分もうれしい、納得。  
どこを掃除すべきか新たな発見。  
仕事への意識の変化。  
お金だけではない。  
仕事への技術向上、お給料増。  
さらに喜ばれる。

心を込めて仕事をすると、誰かのために役に立つ。  
他者を思いやって仕事をする。  
自分の仕事に自信。

出典：作・高橋みか

## ねらい

この教材を通して、生徒と一緒に何を考えたいのかを明確にしました。中学生の発達段階に合った深い学びを実現できます。

33

## 私は清掃のプロになる

生徒用 / pp.158 - 161

- 主題名/内容項目/ねらい
- ◆主題名：心がこもった仕事
- ◆内容項目 C-(13)勤労
- ◆ねらい：技術を磨くだけでなく、他者を思いやり心を込めて働くことが、自分の仕事の価値向上と充実した生き方につながっていくことに気づく学習を通して、社会や人々に貢献しようとする実践意欲を育てる。

- 主題設定の理由
- ◆指導内容について：勤労は、一人ひとりの幸せな生き方の追求であると同時に、経済的な利益を得る手段でもあり、社会生活の発展・向上への貢献の仕方でもある。これらは別々に存在するのではなく、心を込めて一生懸命に仕事をする中で、自分の仕事に対して誇りがもてるようになり、社会や人々に貢献しようとする意欲につながり、充実した生き方ができるようになるのである。
- ◆生徒の実態について：中学1年生では、まだ自分の将来の生き方については漠然とした想像できず、「働くこと」については、自分の好みや経済性を優先し、現実味を帯びていない生徒も多い。仕事や働くことの表面にばかり意識を向けやすい時期であるため、「心のこもった仕事とはどんなものか」を考えることで、勤労観について考えをを広げ、将来の生き方を見つめ始める意欲を高めたい。

- ◆教材について：慣れない日本で、生活のため我慢して清掃の仕事をした主人公・新津春子さんが、その魅力を見だし、本格的に清掃の道を歩み始める。知識や技術を高め、熱心に打ち込むようになっていくが、恩師から「あなたの清掃には心がこもっていない。」と言われてしまう。技術だけではなく「心のこもった仕事」を心掛けることが、自分の仕事の価値向上と充実した生き方につながることに気づかせたい。なお、職業に対する偏見については十分に配慮して指導する。
- 評価のポイント
- ◆ねらいについて：心を込めて仕事をするのが、充実した生き方の追求や社会や人々に貢献しようとする意欲につながることに気づく発言や記述が見られたか。
- ◆指導方法について：中心発問の補助発問で揺さぶりをかけることで、心を込めた仕事や自分の仕事の価値向上と社会貢献につながっていることについて深く考えさせることができたか。
- 参考情報
- 教材理解：ビルクリーニング技能検定は、ビル所有者から委託を受けて行うビルクリーニング作業について必要な技能を評価する国家資格。合格者には、技能士の称号が与えられる。  
参考：https://www.j-bma.or.jp/qualification-training/building-cleaning

人間を読む   教材分析 (教材の流れから)			
教材の流れ	主人公の心の動き	発問	発問の意図
主人公・新津春子さんは、日本語ができるまでと考え、清掃の仕事をする。	日本語が上達するまで我慢しなくてはならない。	新津さんは日本へ来たとき、どんな気持ちだったのだろう。	清掃の仕事に対して、マイナスイメージをもっている新津さんに共感させる。
清掃の仕事の魅力を見出し、清掃の仕事が続いていく。	実はおもしろい仕事かもしれない。私に向いているのかも。	新津さんはどんな思いで、高校でも就職した後も清掃の仕事をしたのだろう。	新津さんが清掃の仕事をしたのは、経済的な事情だけでなく仕事にやりがいを感じていたためであることを押さえる。
メーカーに就職するも仕事内容が合わない。メーカーを辞め、新津さんは清掃の道を本格的に歩み始める。	もともと体を動かすことが好き。自分の清掃の技術を高めたい。	新津さんが、恩師に「あなたの清掃には心がこもっていない。」と言われたのはなぜだろう。	勤勉であることの大切さを押さえたうえで、それでも足りないものや考えさせる。
新津さんはある日、恩師から「あなたの清掃には心がこもっていない。」と言われる。	これまで必死に技術を高めできたのに、何が足りないのだろう。	新津さんが分かったような気がした「心」の意味とは、どんなものだったのだろう。	技術を磨くだけでなく、他者を思いやり心を込めて働くことが、自分の仕事の価値向上と充実した生き方につながっていくことに気づかせる。
お客様の優しい一言に新津さんは嬉しほほえみ、そして目線を上げて周りを見渡した。	「心」の意味が少しわかってきた。		

## 教材分析

ねらいを外さない授業にするために、時系列の教材分析を掲載。教材研究を確実に、かつ短い時間で行えるようにしています。



